

海上の森自然観察会

テーマ いろいろな虫をさがしてみよう

日時 H26年6月21日(土) 10:00～15:00(曇り)

参加者 一般：5名(子ども0) 指導員：8名

朝から梅雨空ですが、夕方までは何とか雨が降らずにもちそうです。ササユリやイワガラミの花を期待して、センダイムシクイやホトトギスの鳴き声が流れる森の中の道を篠田池方面に向かいました。

この時期、毛虫がたくさん見られます。マイマイガの幼虫の一部は既に蛹になっていますが、終齢幼虫もいました。今年は岐阜県などでマイマイガの幼虫がたくさん発生し、農家に注意喚起がなされているほどです。また、近い仲間のオオヤママイマイの幼虫も見られ、両者の顔付をじっくり比べることができました。

篠田池では水面上をパトロールするオオヤマトンボ、真っ赤なショウジョウトンボ、春先から初夏にかけて出現するヨツボシトンボなどが見られましたが、例年、池の水面上に出た杭に止まっているウチワヤンマの姿はありませんでした。

篠田池から林道に向かう途中の砂防堰堤の所で、ササの葉に止まっているヤマトタマムシを見ました。付近にエノキの木がないのに見られるのは珍しいことです。

植物では少々気になることがありました。例年、ササユリの花を見かけましたが、この日は気を付けていましたが、1株も見られませんでした。他所では球根ごと盗掘されたり、花を切り取って持っていかれたりということもありました。ここでもそういうことが起こっているのでしょうか。

また、昨年たくさんの花が咲き実をつけたケケンポナシですが、今年は花が付いていません。そういえば、先月花をつけていたアリマグミに木に実がついていませんでしたし、海上の里のサテライト近くに植えられているナツグミにも実がありませんでした。これらの樹は昨年が当たり年で今年が裏年なのでしょうか。
(報告：齋竹善行)

【その他観察できたもの】 鳥：メジロ、ウグイス(声)、ヤマガラ、ハシブトガラス、スズメ、ヒヨドリ、キビタキ、ヤブサメ(声)、コゲラ、サンショウクイ、サンコウチョウ(声)、シジュウカラ、ホオジロ(声)、ハシボソガラス、ツバメ、カワラヒワ、オオルリ 昆虫：シオカラトンボ、コシアキトンボ、ヤマサナエ、ホソミイトトンボ、アサヒナカワトンボ、クロスジギンヤンマ、ホソミオツネトンボ、カシワマイマイ(幼)、ヒカゲチョウ、キマダラセセリ、ツバメシジミ、オオチャバネセセリ、カノコガ、ホタルガ、ヒメウラナミジャンメ、ベニシジミ、イチモンジチョウ、キンモンガ、モンシロチョウ、ウラギンシジミ、ナミテントウ、ヨツスジハナカミキリ、クロカタビロオサムシ、キマワリ、ヤマトタマムシ、クロモンサシガメ、アカサシガメ



(マイマイガ)



(オオヤママイマイ)



(ヤマトタマムシ)